

## 令和4年度後期の授業方針に関するQ & A

Q 1 令和4年度後期から授業を原則対面に移行したのはなぜですか。

A 新型コロナウイルス感染症の第6波ではこれまでにない規模で感染が拡大したことから、本学では、学生の健康を守るため、対面授業の実施について慎重な対応をとってきたところです。

未だ感染の収束が見通せないものの、オミクロン株の特性として重症化リスクが低いこと、手指消毒や換気、マスク着用などの基本的な対策により授業での感染が確認されていないことなどから、引き続き十分な感染対策を講じた上で、積極的に対面授業を実施することとしたものです。

Q 2 収容人数が通常定員の3分の2とされていますが、密な状態になりませんか。

A 本学の場合、収容人数を通常定員の3分の2に抑えることで、横方向のいずれか一方は席一つ分の間隔（通路を含む。）を確保できるとともに、教室の換気も行うことから、いわゆる3密（密閉・密集・密接）状態は回避しているものと考えています。また、「通常定員の3分の2」については、教室の割り振りにより対面授業に全面的に移行できること、他大学で実施され特に問題が起きていないことなどを総合的に勘案したものです。

Q 3 今回の方針により、対面授業の割合はどの程度になりますか。

A 各授業科目の後期の履修者数で教室の割振りを行ったところ、通常定員の3分の2を超える授業は数科目にとどまっていますので、全面的に対面授業に移行できるものと考えています。

Q 4 基礎疾患があり対面授業が不安なのですが、どうしたらよいですか。

A 風邪症状がある学生は授業を休むよう徹底するとともに、出席した学生には手指消毒やマスクの着用などを徹底しますので、授業での感染リスクは低いと考えています。授業に出席する際は、予防効果の高い不織布マスクを正しく着用し、自己判断になりますが、ワクチンを接種するなど、感染対策をしっかりとってください。